

日本厳選プレミアム株式オープン (年2回決算型)

追加型投信 / 国内 / 株式

ファンドは、NISAの成長投資枠の対象です。

※販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

販売用資料 2024.03

■三菱UFJ銀行からのご留意事項

◎当ファンドは預金ではなく、三菱UFJ銀行は元本を保証しておりません。また、預金保険制度の対象ではありません。 ◎投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、価格変動リスク等があり、お受取金額が投資元本を大きく下回ることがあります。したがって投資元本および運用成果が保証されているものではありません。 ◎ご購入に際しては、購入時手数料および保有期間中の運用管理費用(信託報酬)等の費用がかかります。 ◎ご購入に際しては、必ず最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補完書面」により商品内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。 ◎当ファンドをお取引いただくか否かが、三菱UFJ銀行におけるお客さまのほかの取引に影響を与えることはありません。 ◎当ファンドの購入代金に充当するための借入れを前提とした購入申込みはお受けできません。

【金融商品仲介口座を通じたご購入について】

●当ファンドは三菱UFJ銀行の投資信託口座のほか金融商品仲介口座(三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座)を通じたお取扱いをしております。 ●金融商品仲介口座を通じたご購入に際しては、あらかじめ三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座の開設が必要です(金融商品仲介口座の開設をお申込みいただくと、お取引口座は三菱UFJモルガン・スタンレー証券に開設されます)。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。投資信託説明書(交付目論見書)は、三菱UFJ銀行の本・支店までご請求ください。

投資信託口座を通じたお取扱いの場合

お申込み・販売会社は



三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号
加入協会：日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

金融商品仲介口座を通じたお取扱いの場合

お問合せ・ご照会は



三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号
加入協会：日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

委託金融商品取引業者・販売会社は

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号
加入協会：日本証券業協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

三菱UFJ銀行の苦情処理措置および紛争解決措置は一般社団法人全国銀行協会または特定非営利活動法人証券・金融商品あっせん相談センターを利用します。
全国銀行協会相談室：0570-017109 / 03-5252-3772。証券・金融商品あっせん相談センター：0120-64-5005
受付時間：月～金曜日 / 9:00～17:00 (祝日・12/31～1/3等を除く)

ファンドの目的

信託財産の成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色



わが国の金融商品取引所上場(これに準ずるものを含みます)株式を主要投資対象とし、「プレミアム企業」の株式に着目した運用を行います。



「プレミアム企業」の中から、景気変動の影響を受けにくく持続的な業績拡大が期待される企業の株式を厳選し、集中投資します。

■ 株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。

資金動向や市況動向、残存信託期間等の事情によっては、特色1、特色2のような運用ができない場合があります。



年2回決算を行い、収益の分配を行います。

毎年6月8日および12月8日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

収益分配方針

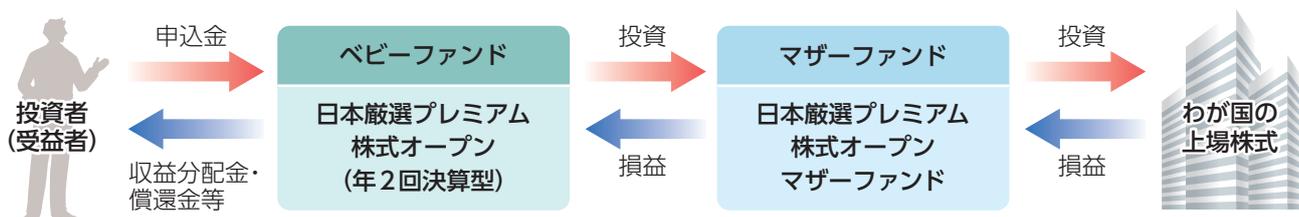
- ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます)等の全額とします。
- ・委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります)

原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。(資金動向や市況動向等により変更する場合があります)

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

■ ファンドのしくみ

ファミリーファンド方式により運用を行います。



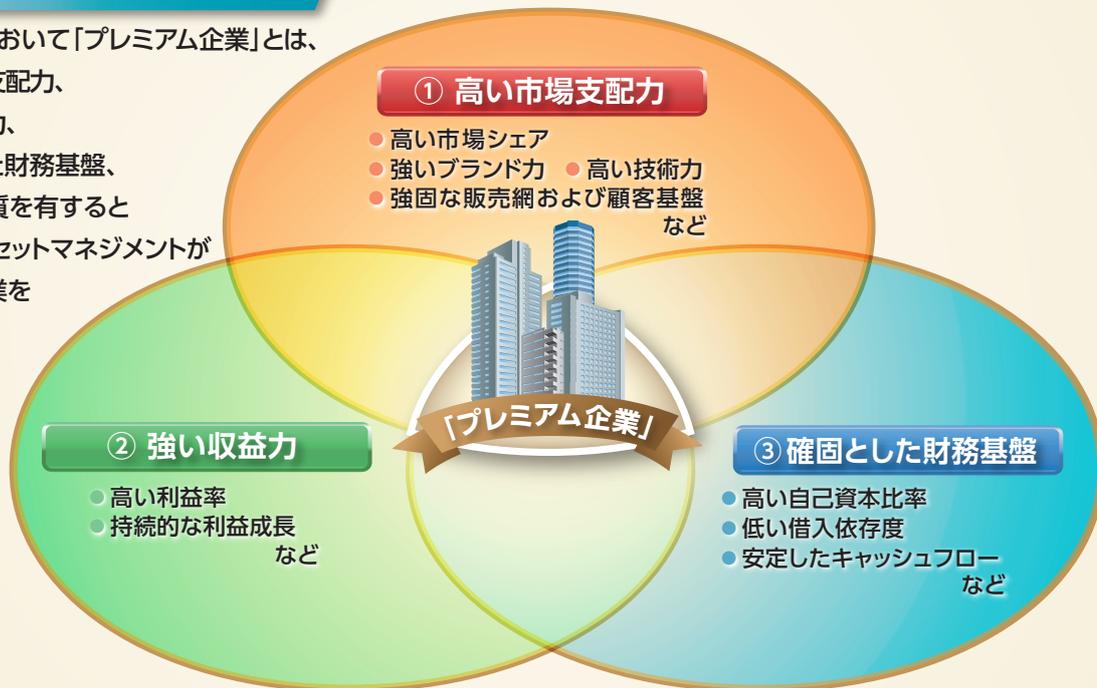
ファミリーファンド方式とは、受益者から投資された資金をまとめた投資信託をベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して、マザーファンドにおいて実質的な運用を行う仕組みです。

「プレミアム企業」とは

当ファンドにおいて「プレミアム企業」とは、

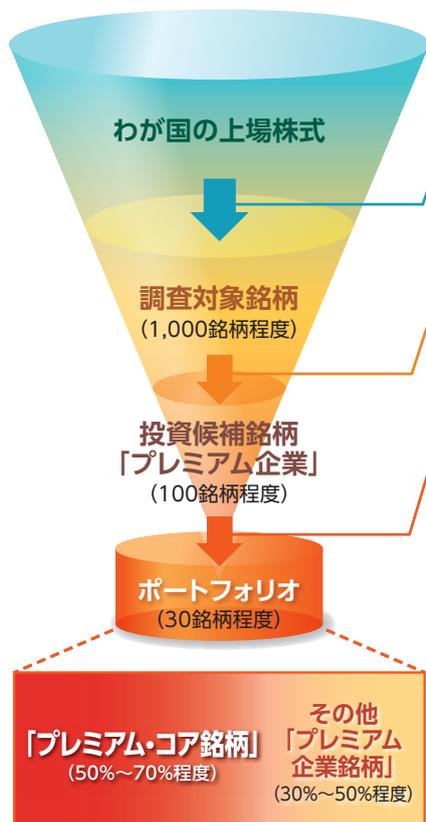
- ①高い市場支配力、
 - ②強い収益力、
 - ③確固とした財務基盤、
- の3つの性質を有すると

三菱UFJアセットマネジメントが判断した企業を指します。



※上図は「プレミアム企業」のイメージをあらわしたものです。

運用プロセス



わが国の上場株式から調査対象銘柄をスクリーニング

- 流動性や時価総額を用いて銘柄選別
- 事業継続について疑義がある銘柄を排除

投資候補銘柄(プレミアム企業)の選定

- 財務や収益性等のデータおよび各種情報を基に、投資候補銘柄(プレミアム企業)を選定

ポートフォリオの構築

- 企業取材などを通じて、「プレミアム企業」を取巻く今後の事業環境、経営方針および業績などについて、中長期的な視点から分析を実施
- 上記分析結果に基づき、現状の株価水準の妥当性を判断した上で、景気変動の影響を受けにくく持続的な業績拡大が期待される企業の株式を厳選し、30銘柄程度に集中投資
- 上記30銘柄程度のうち、特に持続的な業績拡大の確度が高いと予想される10銘柄程度を「プレミアム・コア銘柄」とし、当ファンドの純資産総額に対する「プレミアム・コア銘柄」の組入比率が50%~70%程度となるように調整

「プレミアム・コア銘柄」を選定する意義

当ファンドは収益の獲得に加え、投資環境悪化局面での「下値抵抗力の強さ」も目指します。投資する「プレミアム企業銘柄」のうち、持続的な業績拡大の確度が高いと予想され、かつ内部環境および外部環境の変化、特に悪化局面においても業績の変化等が相対的に小さいと考えられる銘柄を「プレミアム・コア銘柄」として選定して集中投資することで、長期的に安定的な成長を目指します。

※わが国の上場株式とは、わが国の金融商品取引所上場(これに準ずるものを含みます)株式をいいます。

※上記は、2023年12月末現在の運用プロセスであり、今後、見直す場合があります。

2023年12月末時点の当ファンドにおけるポートフォリオは以下の通りです。

組入上位10業種

	業種	比率
1	電気機器	37.4%
2	情報・通信業	8.7%
3	化学	8.7%
4	銀行業	8.0%
5	卸売業	7.8%
6	医薬品	6.8%
7	輸送用機器	5.4%
8	機械	3.8%
9	精密機器	3.7%
10	不動産業	3.1%

株式組入上位15銘柄

組入銘柄数: 30銘柄

	銘柄	業種	比率
1	☆ 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	8.0%
2	☆ 三井物産	卸売業	7.8%
3	☆ 東京エレクトロン	電気機器	7.2%
4	☆ イビデン	電気機器	6.6%
5	☆ ソニーグループ	電気機器	5.6%
6	☆ デンソー	輸送用機器	5.4%
7	☆ 第一三共	医薬品	5.2%
8	☆ キーエンス	電気機器	3.8%
9	☆ 朝日インテック	精密機器	3.7%
10	レゾナック・ホールディングス	化学	3.4%
11	☆ ローム	電気機器	3.2%
12	三井不動産	不動産業	3.1%
13	GMOペイメントゲートウェイ	情報・通信業	3.1%
14	富士電機	電気機器	2.8%
15	パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス	小売業	2.5%

・ ☆があるものは「プレミアム・コア銘柄」

プレミアム・コア銘柄の比率合計

56.7%

・ 原則として、比率は純資産総額に対する割合です。
 ・ 業種は、東証33業種で分類しています。

三菱UFJフィナンシャル・グループ

グループ総合力による持続的成長に期待

- 銀行・信託・証券を融合した金融グループ。
- 「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」を目指す様々な取り組み、総合力に期待。継続的な株主還元策の積極化にも期待。

株価の推移



三井物産

あらゆる産業の社会課題への解決力に期待

- 金属・鉄鋼、エネルギー、生活産業、機械・インフラ、化学品など、広範囲にわたるビジネスを展開する総合商社。
- 各事業の「商品軸」とグローバルでの「地域軸」、総合商社としての多様な「機能軸」を掛け合わせ今後も新たなビジネスモデルや新事業を創出することに期待。

株価の推移



東京エレクトロン

デジタル化に伴う半導体製造装置市場の拡大に期待

- 半導体製造装置の大手メーカー。半導体を生産する「半導体製造装置」と、フラットパネルディスプレイ (FPD) の製造を担う「FPD製造装置」の2つが基幹事業。
- デジタル化や最先端半導体技術の進化による半導体市場の拡大に伴い、高いシェアを誇る同社の半導体製造装置の需要拡大に期待。

株価の推移



デンソー

自動車の電動化による持続的成長に期待

- トヨタグループの最大手自動車部品サプライヤー。カーエアコンやインバーターなどを主力に多岐にわたる製品を提供。
- 競争力の高いインバーターは電動車用基幹部品であり、トヨタ向け拡大に加え、トヨタ以外への販売にも期待。加えてADAS(先進運転システム)領域にも期待。

株価の推移

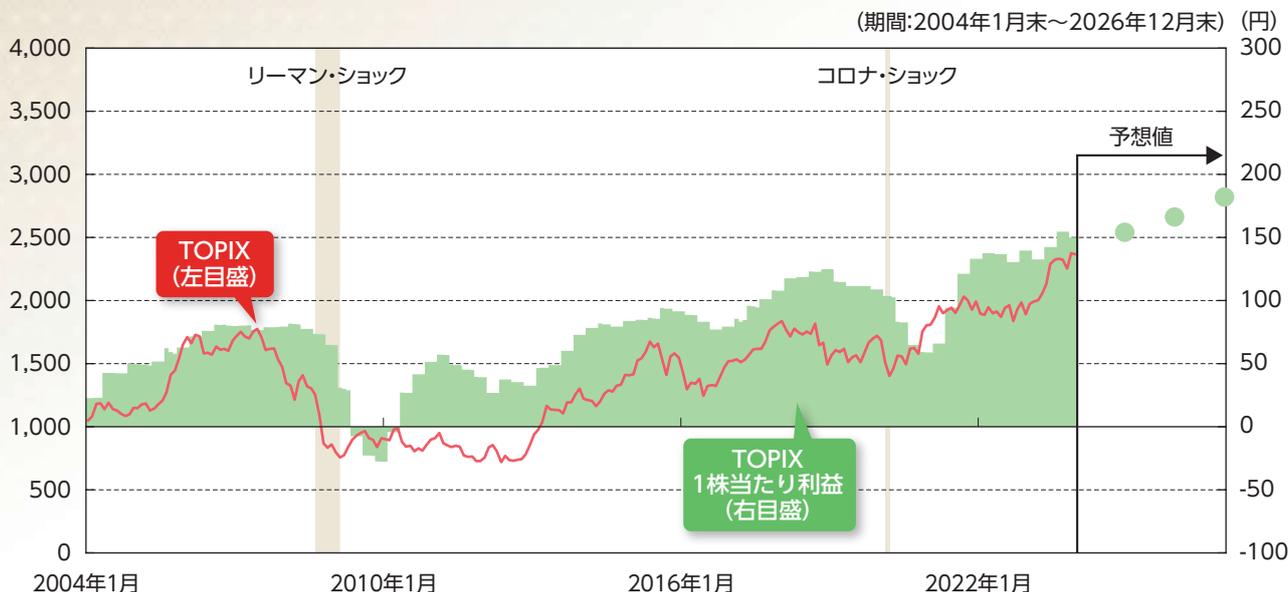


(出所) Bloombergのデータ、各社HP等を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・ 上記は当ファンドの理解を深めていただくため、三菱UFJアセットマネジメントが資料作成基準日時点で「プレミアム・コア銘柄」と判断した銘柄の中から、業種等を勘案して紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

日本企業の利益が過去のリーマン・ショックやコロナ・ショックでは大きく落ち込み、日本株式は下落する一方で、利益が増加すれば上昇する傾向にあり、利益と株価動向は概ね連動していることがわかります。

TOPIXとTOPIX1株当たり利益の推移



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

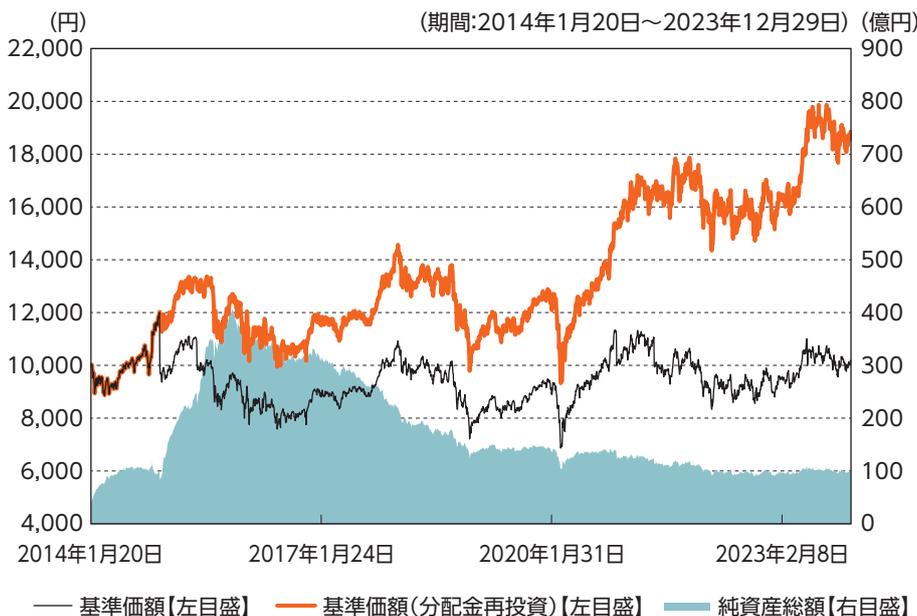
- ・ 上記は指数を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。
- ・ TOPIX1株当たり利益の実績値は2023年12月末まで。2024年末以降は各年末のBloomberg予想値(2023年12月29日時点)を使用。

運用実績

最新の運用実績は委託会社のホームページ等にてご確認ください。

(2023年12月29日現在)

基準価額および純資産総額の推移



分配金実績(1万口当たり、税引前)

2023年12月	0円
2023年6月	743円
2022年12月	0円
2022年6月	0円
2021年12月	262円
2021年6月	1,054円
設定来累計	6,518円

・ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

- ・ 基準価額、基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりで運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・ 信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

株価変動リスク

株式の価格は、国内および国際的な政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等の影響を受け変動します。株式の価格が変動すれば当ファンドの基準価額の変動要因となります。

信用リスク

投資している有価証券等の発行会社の倒産、財務状況または信用状況の悪化等の影響により、当ファンドの基準価額は下落し、損失を被ることがあります。

集中投資リスク

当ファンドは、少数の銘柄に集中投資するため、より多くの銘柄に分散投資する投資信託と比べて、1銘柄の株価変動による影響が大きくなる可能性があります。そのため、当ファンドの基準価額は、わが国の株式市場全体の平均的な値動きに比べてより大きく(小さく)なる場合や、市場全体の動きと異なる動きをする場合があります。

上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

■ その他の留意点

- 投資信託(ファンド)の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。
- 当ファンドのお取引に関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

■ リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行い、ファンド管理委員会およびリスク管理委員会において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。また、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策を策定し流動性リスクの評価と管理プロセスの検証などを行います。リスク管理委員会は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

【本資料で使用している指数について】

■ 東証株価指数(TOPIX)

東証株価指数(TOPIX)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

日本厳選プレミアム株式オープン(年2回決算型)

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

※三菱UFJ銀行でお申込みの場合

お申込みメモ

購入時	購入単位 分配金再投資コース(累積投資コース):1万円以上1円単位 購入単位には購入時手数料(税込)が含まれます。 再投資される分配金については、1口単位とします。 投資信託口座(投信つみたて(継続購入プラン)):1万円以上1円単位 (上記以外の購入単位でのお取扱いもございます。くわしくは三菱UFJ銀行のホームページをご覧ください。) 金融商品仲介口座(投信積立):1万円以上1千円単位
	購入価額 購入申込受付日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。
換金時	換金単位 投資信託口座:1円以上1円単位、または1口以上1口単位、または全部。 金融商品仲介口座:1口以上1口単位、または全部。
	換金価額 換金申込受付日の基準価額
	換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込について	申込締切時間 原則として、午後3時までに受付けたものを当日の申込分とします。
	換金制限 当ファンドの資金管理を円滑に行うため、原則として1日1件5億円を超える換金はできません。
	購入・換金申込受付の中止および取消し 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
その他	信託期間 無期限(2014年1月20日設定)
	繰上償還 当ファンドの受益権の総口数が、当初設定時の10分の1または10億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
	決算日 毎年6・12月の8日(休業日の場合は翌営業日)
	収益分配 年2回の決算時に分配を行います。 ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少および基準価額の下落要因となります。 収益分配金は税金を差引いた後、原則として再投資されます。 ※分配金を再投資せず、お客様の指定口座にご入金するお取扱いを希望される場合は、分配金出金(定期引出契約)をお申込みください。
	課税関係 課税上は、株式投資信託として取扱われます。 個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。 ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象です。 販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。 税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

ファンドの費用

◎お客様が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料 購入金額(購入価額×購入口数)×3.30%(税抜 3.00%) で得た額 ※インターネット取引でご購入の場合は、上記手数料率から10%優遇(投信つみたて(継続購入プラン)・投信積立を除く)。 投資信託口座(投信つみたて(継続購入プラン)):つみたて回数に応じて上記手数料率から段階的に優遇(くわしくは三菱UFJ銀行ホームページをご覧ください。) 金融商品仲介口座(投信積立):上記手数料率から30%優遇
換金時	信託財産留保額 ありません。

◎お客様が信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用(信託報酬) 日々の純資産総額に対して、 年率1.650%(税抜年率1.500%) をかけた額
	その他の費用・手数料 以下の費用・手数料についても当ファンドが負担します。 ・監査法人に支払われる当ファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、当ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時に当ファンドから支払われます。
※ファンドの費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、当ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

委託会社(ファンドの運用の指図等)	三菱UFJアセットマネジメント株式会社
お客様専用フリーダイヤル	0120-151034 (受付時間/営業日の9:00~17:00)
●ホームページアドレス	https://www.am.mufg.jp/
受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)	三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社(購入・換金の取扱い等)	株式会社三菱UFJ銀行 [投資信託口座を通じたお取扱いの場合] 株式会社三菱UFJ銀行 [金融商品仲介口座を通じたお取扱いの場合] 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 (金融商品仲介業務等を行う登録金融機関:株式会社三菱UFJ銀行) 他の販売会社は、上記の委託会社の照会先でご確認いただけます。

本資料に関してご留意いただきたい事項

●本資料は、三菱UFJアセットマネジメントが作成した販売用資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。 ●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。 ●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。 ●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。 ●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。